



【「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」に関する特設ブースの様子】

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 9 月 13 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp

## 第 11 回シティネット防災クラスターセミナーをフィリピン・イロイロ市で開催しました

8 月 2 日から 4 日にかけて、横浜市は、シティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）の防災クラスター（分科会）の議長として、シティネット会員都市フィリピン・イロイロ市及びシティネット横浜プロジェクトオフィスとともに、第 11 回シティネット防災クラスターセミナーをイロイロ市で開催しました。会員都市の防災担当をはじめ、国連、NPO、教育機関の専門家が今回のセミナーに参加し、防災・減災やレジリエンス等について情報共有や議論を実施しました。



横浜市及びシティネット横浜プロジェクトオフィス、JICA 等の協力で「イロイロ市コミュニティ防災推進事業」（CBARAD）を通じて災害対応能力の向上支援を受けたイロイロ市のホセ・エスピノザ三世市長が、本セミナーの挨拶で参加者を歓迎しました。横浜市からは危機管理室の職員が防災・減災に関する民間との連携についてプレゼンテーションを行いました。

## 《TICAD7 横浜開催》 UNDP 主催ビジネスワークショップ～SDGs から読み解くアフリカの未来～ が開催されました

8 月 3 日に、第 7 回アフリカ開発会議（TICAD7）を日本政府等と共催する UNDP（国連開発計画）が、アフリカでのビジネス展開や持続可能な開発目標（SDGs）に関心のある企業を対象としたワークショップを横浜で開催しました（横浜市後援）。



当日は、UNDP アフリカ地域局のチーフエコノミスト、アヨデレ・オデュソラ氏がニューヨークから来日して基調講演を行ったのに続いて、ルワンダで IT ビジネスを実施しているレックスバード社やケニアで小売業を展開している開発コンサルタントのアイ・シー・ネット社から現地の貴重な報告が行われました。その後、企業関係者など約 70 名の参加者は複数のグループに分かれ、SDGs を活用した状況分析と課題設定や、ビジネスがどのように課題の解決に貢献できるかなどについてケーススタディを行いました。

## いよいよ開幕！日本最大級のダンスフェスティバル、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018

3 年に一度のダンスの祭典

「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」が開催しました！“横浜の街”そのものを舞台として、8 月 4 日から 9 月 30 日まで約 2 か月間開催します。

今回のフェスティバルでは、初めての試みとして、横浜の姉妹都市フランス・リヨンから、「リヨン・ダンス・ビエンナーレ」の芸術監督であるドミニク・エルヴェ氏を、ディレクターとしてお迎えし、連携したプログラムを実施します。横浜は 2019 年にリヨンと姉妹都市 60 周年を迎えます。



開催期間中、ランドマークプラザ 3 階イベントスペースに Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 とリヨンに関する特設ブースが設置されています。

詳細は「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」公式サイト：  
<https://dance-yokohama.jp/>